

書類審査チェックシート (一種耐熱形配電盤等)

年 月 日
確認者 印

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 一種耐熱形	(区分)	
チェックの別	新規審査 自己チェック	型式番号	

項目	チェック内容	結果	指摘事項等
○申請図書	(1) 申請書及び図書類はA 4綴じか。(用紙の最大はA 3サイズ) (2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次によつて いるか。 1. 型式認定申請書 2. 取得済みの認定証書の写(認定試験一部省略の場合に添付) 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書 5. 外形図(取付部品表も含む。) 6. 回路構成図 7. 構造図(縦、横断面図) 8. 断熱ボックス構造図 9. 計器窓の取付図 <input checked="" type="checkbox"/> 10. 銘板図 11. 認定品の取扱い範囲に関する図書 12. 工場案内図 13. 書類審査チェックシート 14. 自主耐熱試験成績書(認定試験一部省略の場合は不要)		
1. 型式認定申請書	(1) 申請者の記載事項に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・区分)に誤りはないか。		
	(3) 「添付図書類」の欄の記載事項に誤りはないか。		
	(4) 供試品(耐熱試験を行う盤)については、外形図、回路構成図、構造図、断熱ボックス構造図の部分に“(供試品)”と追記してあるか		
	(5) その他、記載事項に誤りはないか。		
2. 取得済みの認定証書の写	認定証書の写は、認定試験一部省略に相当する内容のものか。また、その有効期限に問題はないか。		
3. 誓約書	誓約書の記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 連絡担当者が記載されているか。(部署、TEL、FAX 明記)		
	(4) 品質管理組織図に各部門の体制図が記載されているか。		
	(5) 品質管理組織図にクレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(6) (一社)日本配電制御システム工業会が行う“JSIA 優良工場”又は品質マネジメントシステム規格 JIS Q 9001 (ISO 9001) の認証を得ている申請者は、その旨「品質管理組織図」の欄の右隅に記載されているか。【立入調査時一部省略条件】		

項 目	チェック内容	結果	指摘事項等
4. 品質管理 に関する説明書	(7) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 交流電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V, 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上 オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 DC500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ ケ. 温度計、湿度計 コ. 膜厚計		
	(8) 次の関係規格基準類が整備されているか。 ア. 耐熱形配電盤等型式認定の手引 イ. 消防関係法令集 ウ. 建築基準法関係法令集 エ. 電気設備の技術基準 オ. 内線規程 カ. J I S及びJ E M等における関係規格 キ. 社内設計基準 ク. 社内検査基準		
	(9) その他、記載事項に誤りはないか。		
5. 外形図 (図面全般)	(1) 製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付の記載がされているか。 (最低、製図者又は設計者及び検図者又は承認者が必要)		
	(2) 供試品については、外形図、回路構成図、構造図、断熱ボックス構造図の部分に“(供試品)”と記入してあるか。		
5.1 外形図	(1) 正面図、側面図、内部配置図が記載されているか。		
	(2) 専用形の場合、外形寸法は500W×700H×200Dであるか。 なお、上記以外の場合の各部の寸法は、供試品以上とする。		
	(3) 専用形の場合、各部の寸法は次のようになっているか。 ア. 取付孔は4-φ14であるか。 イ. 取付孔の位置は400W×600Hであるか。 ウ. 電線引込み及び引出し寸法は、100mmであるか。 エ. 電線引込み口及び引出し口の電線貫通金物取付け位置は、背面より60mmであるか。		
	(4) 共用形の場合、実用に供する寸法であるか。 なお、防災回路部分の各部の寸法は、供試品以上とする。		
	(5) 共用形の場合、ドアは、防災電源回路用と一般回路用を別個のドアとし、防災回路部分の各々のドアは一方のドアに関わることなく開放できる構造であるか。		
	(6) 正面図、側面図、内部配置図の番号と取付部品表の部品名称の番号(No)は整合しているか。		
	(7) 耐火表示灯は、正面の見やすいところに取付けてあるか。		
	(8) 名称板は、正面の見易いところ(上部)に取付けてあるか。		
	(9) 銘板は、ドア裏面に取付けてあるか。		
	(10) その他、記載事項に誤りはないか。		

項 目	チェック内容	結果	指摘事項等
5.2 取付部品表	(1) ボックスの板厚の仕様は、1.6mm（以上）となっているか。		
	(2) 前面枠及びドアの板厚の仕様は、2.3mm（以上）となっているか。		
	(3) 断熱ボックスの記載があるか。		
	(4) 耐火表示灯の仕様に誤りはないか。 [耐火形登録品、メーカ、形式、赤色]		
	(5) 名称板の横寸法は、200mm（以上）であるか。		
	(6) 銘板の材質は、金属製で厚さ0.8mm（以上）であるか。		
	(7) 耐火形扉用把手の仕様に誤りはないか。 [耐火形登録品、メーカ、形式]		
	(8) 電線貫通金物は金属製であるか。		
	(9) 耐火電線(FP)は、認定品(JCT <input type="checkbox"/> または JCMA <input type="checkbox"/>)であるか。		
	(10) 耐熱形配線用遮断器の仕様に誤りはないか。 [一種耐熱形認定品、メーカ、形式]		
	(11) 耐熱形表示灯用変圧器の仕様に誤りはないか。 [一種耐熱形登録品、メーカ、形式]		
	(12) 耐熱形ヒューズホルダの仕様に誤りはないか。 [一種耐熱形登録品、メーカ、形式]		
	(13) 表示灯用ヒューズの仕様に誤りはないか。 [メーカ、ガラス管ヒューズ、消弧剤入り]		
	(14) 耐火形端子台の仕様に誤りはないか。 [耐火形認定品、メーカ、形式]		
	(15) 用途名称板（カードホルダ）の仕様に誤りはないか。 [一種耐熱形登録品、メーカ、形式] なお、金属製のものも使用可能。		
	(16) 図面ホルダの仕様は、金属製又は金属枠と難燃性の透明板（厚さ1.0mm以下のもの）を使用しているか。		
	(17) 電圧計、電流計の仕様に誤りはないか。 <input type="checkbox"/> [メーカ、形式、階級] 階級:2.5級以上		
	(18) 耐熱形変流器の仕様に誤りはないか。 <input type="checkbox"/> [一種耐熱形登録品、メーカ、形式、階級] 階級:2.5級以上		
	(19) その他、記載事項に誤りはないか。		
6. 回路構成図	(1) 図記号等に誤りはないか。(JIS C 0617 に準拠しているか。)		
	(2) 電線の種類、サイズ(mm ²)に誤りはないか。		
	(3) 耐火形端子台は電線サイズに合ったものか。		
	(4) 表示灯用回路は、動力回路のみとし、耐熱形配線用遮断器の2次側に接続しているか。(申請図書の場合のみ)		
	(5) 表示灯用ヒューズに至る耐火電線(FP)は、認定品を使用しているか。なお、ヒューズの2次側より表示灯に至る電線はI V 1.25mm ² でもよい。		
	(6) 表示灯用回路には、両極に1A～3Aの消弧剤入りヒューズを設けているか。		
	(7) 電圧計用回路は、耐熱形配線用遮断器の1次側に接続しているか。 <input type="checkbox"/>		
	(8) 電圧計用ヒューズに至る耐火電線(FP)は、認定品を使用しているか。なお、ヒューズの2次側より電圧計に至る電線はI V 2mm ² でもよい。 <input type="checkbox"/>		

項目	チェック内容	結果	指摘事項等
6. 回路構成図	(9) 電圧計回路には、両極に 1A～3Aの消弧剤入りヒューズを設けているか。 <input checked="" type="checkbox"/>		
	(10) 電流計にはCTが併用され、電流計までの配線がなされているか。なお、電線は $1V2mm^2$ でもよい。 <input checked="" type="checkbox"/>		
	(11) その他、記載事項に誤りはないか。		
7. 構造図 (縦・横断面図)	(1) 主要構造、部品、材料が記載されているか。		
	(2) 寸法は手引きの記入例に示す箇所にはすべて表示されているか。		
	(3) 寸法等の記載方法に誤りはないか。 例 2.3mm ⇒ t2.3、 4-14φ取付穴 ⇒ 4-φ14取付孔		
	(4) 前面枠及びドアは2.3mm、その他は1.6mm(以上)の鋼板である旨の指示があるか。(ボックスが前面枠を兼ねる構造で、枠の幅が50mm以下のものは1.6mmで可)		
	(5) ドア開閉部は、熱気流1回返し以上の構造で、その空間の1箇所は3.5mm以内としているか。《説明書きが必要》		
	(6) 共用形の横断面図には一般回路部分も記載されているか。		
	(7) ボックス及び断熱ボックスは断熱充填物でシールされているか。		
	(8) 断熱充填物寸法が記入されているか。		
	(9) 電線管又は金属製可とう電線管を容易に接続できるか。		
	(10) 耐火形端子台への接続スペースは適切か。		
	(11) 耐火形表示灯のレンズは前面板より突出しているか。		
	(12) 計器は、配線の接続スペースが取れる位置にあるか。 <input checked="" type="checkbox"/>		
	(13) その他、記載事項に誤りはないか。		
8. 断熱ボックス	(1) 断熱ボックスの材料に問題はないか。 ア. 断熱板(繊維混入けい酸カルシウム板): メーカー、形式 イ. 防火塗料 : メーカー、形式 ウ. 断熱充填物 : メーカー、形式		5.2 取付部品表に記載でも可
	(2) 断熱構造部の詳細が記入されているか。		
	(3) 断熱ボックスの板厚は8mm×2(16mm)であるか。		
	(4) 供試品でない場合の断熱ボックスの寸法は、供試品の各部の寸法以上であるか。		
	(5) 脱落防止ねじ(M6以上)及び金具は、鋼製以上の熱的強度を有するものを使用しているか。また、ねじは頭部にドライブ用のすり割りを入れたものであるか。 なお、上記構造でない場合は、委員会の承諾(供試品と同様)を得たものか。		
	(6) 断熱ボックスの材料の接合部及びコーナ補強がなされているか。		
	(7) 防火塗料の塗布厚は0.6mm以上であるか。《説明書きが必要》		7. 構造図に記載でも可
	(8) その他、記載事項に誤りはないか。		
9. 計器 <input checked="" type="checkbox"/>	(1) 計器窓の取付け図が添付されているか。また、計器窓の断熱構造は適切か。		
	(2) 計器窓は金属製の網入ガラス6.8mm(以上)を使用しているか。		
	(3) その他、記載事項に誤りはないか。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項等
10. 銘板図	(1) 銘板の材質は、金属製で厚さ 0.8mm (以上) であるか。		5.2 取付部品表に記載でも可
	(2) 銘板は、「耐熱形配電盤等認定基準」 6. 耐熱形配電盤等の表示を満足しているか。		
	(3) その他、記載事項に誤りはないか。		
11. 認定品の取扱い範囲に関する図書	(1) 認定品の導電部の接続方法に問題はないか。 ア. 導体の接続方法 イ. 導体支持物の種類 (材質) ウ. 電圧計及び表示灯へのコネクタ配線について		
	(2) 保護板の材料に問題はないか。		
	(3) ドア部の各種の構造に問題はないか。(供試品と同等以上か。)		
	(4) 屋外用の構造に問題はないか。 屋根部の構造は、キャビネットを変更しないで取付ける構造とする。(屋根部取付けのためのねじ孔加工は可)		
	(5) その他、記載事項に誤りはないか。		
12. 工場案内図	最寄りの駅から、工場まで道程がわかる案内図であるか。		
13. 書類審査 チェックシート	確認者のサイン及び日付の記載があるか。		
14. 自主 耐熱試験成績書 (供試品のみ)	(1) 耐熱温度曲線図 (チャート図) が添付されているか。 その耐熱試験温度曲線は規定通りか。		
	(2) 耐熱温度曲線図から、断熱ボックス内部温度 (指定測定点) は 30 分後、280 度以内となっているか。		
	(3) 耐熱試験 (前、後) の写真が添付されているか。 その写真から問題はないか。		
15. その他			

注記 1 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしの場合は— 印を記入する。

注記 2 配は、配電盤のみに適用。

注記 3 供試品とは、認定取得のために耐熱試験を行った盤をいう。

注記 4 認定試験一部省略とは、「認定規約細則」 6.認定試験の一部省略に該当する盤をいう。

書類審査(更新用)チェックシート (一種耐熱形配電盤等)

年 月 日

確認者 印

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 一種耐熱形	(区分)	
チェックの別	更新審査 自己チェック	型式番号	

項目	チェック内容	結果	指摘事項等
○申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次のようになっているか。 1. 型式認定更新申請書 2. 取得済みの認定証書の写 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書 5. 外形図(取付部品表も含む。) 6. 回路構成図 7. 構造図(縦、横断面図) 8. 断熱ボックス構造図 9. 計器窓の取付図 配 10. 銘板図 11. 認定品の取扱い範囲に関する図書 12. 工場案内図 13. 書類審査チェックシート		
1. 型式認定 更新申請書	(1) 申請者の記載事項に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・区分)に誤りはないか。		
	(3) 「添付図書類」の欄の記載事項に誤りはないか。		
	(4) 供試品(耐熱試験を行った盤)については、外形図、回路構成図、構造図、断熱ボックス構造図の部分に“(供試品)”と追記してあるか		
	(5) その他、記載事項に誤りはないか。		
2. 取得済みの 認定証書の写	認定証書の写と更新申請書の型式区分、型式番号、有効期限は整合しているか。また、有効期限に問題はないか。		
3. 誓約書	誓約書の記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理 に関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 連絡担当者が記載されているか。(部署、TEL、FAX明記)		
	(4) 品質管理組織図に各部門の体制図が記載されているか。		
	(5) 品質管理組織図にクレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(6) (一社)日本配電制御システム工業会が行う“JSIA 優良工場”又は品質マネジメントシステム規格 JIS Q 9001 (ISO 9001) の認証を得ている申請者は、その旨「品質管理組織図」の欄の右隅に記載されているか。【立入調査時一部省略条件】		

項 目	チェック内容	結果	指摘事項等
4. 品質管理 に関する説明書	(7) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 交流電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V, 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上 オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 DC500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ ケ. 温度計、湿度計 コ. 膜厚計		
	(8) 次の関係規格基準類が整備されているか。 ア. 耐熱形配電盤等型式認定の手引 イ. 消防関係法令集 ウ. 建築基準法関係法令集 エ. 電気設備の技術基準 オ. 内線規程 カ. J I S及びJ E M等における関係規格 キ. 社内設計基準 ク. 社内検査基準		
	(9) その他、記載事項に誤りはないか。		
5. 外形図 (図面全般)	(1) 製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付の記載がされているか。 (最低、製図者又は設計者及び検図者又は承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名があるか。 なお、確認日は提出日の3か月前までのものとする。		新たに図面を作成した場合は不要
	(3) 供試品については、外形図、回路構成図、構造図、断熱ボックス構造図の部分に“(供試品)”と記入してあるか。		
5.1 外形図	(1) 正面図、側面図、内部配置図が記載されているか。		
	(2) 専用形の場合、外形寸法は500W×700H×200Dであるか。 なお、上記以外の場合の各部の寸法は、供試品以上とする。		
	(3) 専用形の場合、各部の寸法は次のようになっているか。 ア. 取付孔は4-φ14であるか。 イ. 取付孔の位置は400W×600Hであるか。 ウ. 電線引込み及び引出し寸法は、100mmであるか。 エ. 電線引込み口及び引出し口の電線貫通金物取付け位置は、背面より60mmであるか。		
	(4) 共用形の場合、実用に供する寸法であるか。 なお、防災回路部分の各部の寸法は、供試品以上とする。		
	(5) 共用形の場合、ドアは、防災電源回路用と一般回路用を別個のドアとし、防災回路部分の各々のドアは一方のドアに関わることなく開放できる構造であるか。		
	(6) 正面図、側面図、内部配置図の番号と取付部品表の部品名称の番号(No)は整合しているか。		
	(7) 耐火表示灯は、正面の見やすいところに取付けてあるか。		
	(8) 名称板は、正面の見易いところ(上部)に取付けてあるか。		

項 目	チェック内容	結果	指摘事項等
5.1 外形図	(9) 銘板は、ドア裏面に取付けてあるか。		
	(10) その他、記載事項に誤りはないか。		
5.2 取付部品表	(1) ボックスの板厚の仕様は、1.6mm（以上）となっているか。		
	(2) 前面枠及びドアの板厚の仕様は、2.3mm（以上）となっているか。		
	(3) 断熱ボックスの記載があるか。		
	(4) 耐火表示灯の仕様に誤りはないか。 [耐火形登録品、メーカー、形式、赤色]		
	(5) 名称板の横寸法は、200mm（以上）であるか。		
	(6) 銘板の材質は、金属製で厚さ0.8mm（以上）であるか。		
	(7) 耐火形扉用把手の仕様に誤りはないか。 [耐火形登録品、メーカー、形式]		
	(8) 電線貫通金物は金属製であるか。		
	(9) 耐火電線(FP)は、認定品(JCT <input type="checkbox"/> または JCMA <input type="checkbox"/>)であるか。		
	(10) 耐熱形配線用遮断器の仕様に誤りはないか。 [一種耐熱形認定品、メーカー、形式]		
	(11) 耐熱形表示灯用変圧器の仕様に誤りはないか。 [一種耐熱形登録品、メーカー、形式]		
	(12) 耐熱形ヒューズホルダの仕様に誤りはないか。 [一種耐熱形登録品、メーカー、形式]		
	(13) 表示灯用ヒューズの仕様に誤りはないか。 [メーカー、ガラス管ヒューズ、消弧剤入り]		
	(14) 耐火形端子台の仕様に誤りはないか。 [耐火形認定品、メーカー、形式]		
	(15) 用途名称板（カードホルダ）の仕様に誤りはないか。 [一種耐熱形登録品、メーカー、形式] なお、金属製のものも使用可能。		
	(16) 図面ホルダの仕様は、金属製又は金属枠と難燃性の透明板（厚さ1.0mm以下のもの）を使用しているか。		
	(17) 電圧計、電流計の仕様に誤りはないか。 <input type="checkbox"/> [メーカー、形式、階級] 階級は2.5級以上		
	(18) 耐熱形変流器の仕様に誤りはないか。 <input type="checkbox"/> [一種耐熱形登録品、メーカー、形式、階級] 階級は2.5級以上		
	(19) その他、記載事項に誤りはないか。		
6. 回路構成図	(1) 図記号等に誤りはないか。(JIS C 0617に準拠しているか。)		
	(2) 電線の種類、サイズ(mm ²)に誤りはないか。		
	(3) 耐火形端子台は電線サイズに合ったものか。		
	(4) 表示灯用回路は、動力回路のみとし、耐熱形配線用遮断器の2次側に接続しているか。(申請図書の場合のみ)		
	(5) 表示灯用ヒューズに至る耐火電線(FP)は、認定品を使用しているか。なお、ヒューズの2次側より表示灯に至る電線はI V 1.25mm ² でもよい。		
	(6) 表示灯用回路には、両極に1A～3Aの消弧剤入りヒューズを設けているか。		
	(7) 電圧計用回路は、耐熱形配線用遮断器の1次側に接続しているか。 <input type="checkbox"/>		

項目	チェック内容	結果	指摘事項等
6. 回路構成図	(8) 電圧計用ヒューズに至る耐火電線(FP)は、認定品を使用しているか。なお、ヒューズの2次側より電圧計に至る電線はI V2mm ² でもよい。 <input type="checkbox"/>		
	(9) 電圧計回路には、両極に1A~3Aの消弧剤入りヒューズを設けているか。		
	(10) 電流計にはCTが併用され、電流計までの配線がなされているか。なお、電線はI V2mm ² でもよい。 <input type="checkbox"/>		
	(11) その他、記載事項に誤りはないか。		
7. 構造図 (縦・横断面図)	(1) 主要構造、部品、材料が記載されているか。		
	(2) 寸法は手引きの記入例に示す箇所にはすべて表示されているか。		
	(3) 寸法等の記載方法に誤りはないか。 例 2.3mm ⇒ t2.3、 4-14φ取付穴 ⇒ 4-φ14取付孔		
	(4) 前面枠及びドアは2.3mm、その他は1.6mm(以上)の鋼板である旨の指示があるか。(ボックスが前面枠を兼ねる構造で、枠の幅が50mm以下のものは1.6mmで可)		
	(5) ドア開閉部は、熱気流1回返し以上の構造で、その空間の1箇所は3.5mm以内としているか。《説明書きが必要》		
	(6) 共用形の横断面図には一般回路部分も記載されているか。		
	(7) ボックス及び断熱ボックスは断熱充填物でシールされているか。		
	(8) 断熱充填物寸法が記入されているか。		
	(9) 電線管又は金属製可とう電線管を容易に接続できるか。		
	(10) 耐火形端子台への接続スペースは適切か。		
	(11) 耐火形表示灯のレンズは前面板より突出しているか。		
	(12) 計器は、配線の接続スペースが取れる位置にあるか。 <input type="checkbox"/>		
	(13) その他、記載事項に誤りはないか。		
8. 断熱ボックス	(1) 断熱ボックスの材料に問題はないか。 ア. 断熱板(繊維混入けい酸カルシウム板): メーカー、形式 イ. 防火塗料 : メーカー、形式 ウ. 断熱充填物 : メーカー、形式		5.2 取付部品表に記載でも可
	(2) 断熱構造部の詳細が記入されているか。		
	(3) 断熱ボックスの板厚は8mm×2(16mm)であるか。		
	(4) 供試品でない場合の断熱ボックスの寸法は、供試品の各部の寸法以上であるか。		
	(5) 脱落防止ねじ(M6以上)及び金具は、鋼製以上の熱的強度を有するものを使用しているか。また、ねじは頭部にドライバ用のすり割りを入れたものであるか。 なお、上記構造でない場合は、委員会の承諾(供試品と同様)を得たものか。		
	(6) 断熱ボックスの材料の接合部及びコーナ補強がなされているか。		
	(7) 防火塗料の塗布厚は0.6mm以上であるか。《説明書きが必要》		7. 構造図に記載でも可
	(8) その他、記載事項に誤りはないか。		

項 目	チェック内容	結果	指摘事項等
9. 計器 <input type="checkbox"/>	(1) 計器窓の取付け図が添付されているか。また、計器窓の断熱構造は適切か。		
	(2) 計器窓は金属製の網入ガラス 6.8mm (以上) を使用しているか。		
	(3) その他、記載事項に誤りはないか。		
10. 銘板図	(1) 銘板の材質は、金属製で厚さ 0.8mm (以上) であるか。		5.2 取付部品表に記載でも可
	(2) 銘板は、「耐熱形配電盤等認定基準」6. 耐熱形配電盤等の表示を満足しているか。		
	(3) その他、記載事項に誤りはないか。		
11. 認定品の取扱い範囲に関する図書	(1) 認定品の導電部の接続方法に問題はないか。 ア. 導体の接続方法 イ. 導体支持物の種類 (材質) ウ. 電圧計及び表示灯へのコネクタ配線について		
	(2) 保護板の材料に問題はないか。		
	(3) ドア部の各種の構造に問題はないか。(供試品と同等以上か。)		
	(4) 屋外用の構造に問題はないか。 屋根部の構造は、キャビネットを変更しないで取付ける構造とする。(屋根部取付けのためのねじ孔加工は可)		
	(5) その他、記載事項に誤りはないか。		
12. 工場案内図	最寄りの駅から、工場まで道程がわかる案内図であるか。		
13. 書類審査 チェックシート	確認者のサイン及び日付の記載があるか。		
15. その他			

注記1 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしの場合は— 印を記入する。

注記2 は、配電盤のみに適用。

注記3 供試品とは、認定取得のために耐熱試験を行った盤をいう。

注記4 認定試験一部省略とは、「認定規約細則」6.認定試験の一部省略に該当する盤をいう。

書類審査チェックシート (二種耐熱形配電盤等)

年 月 日

確認者 印

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 二種耐熱形	(区分)	
チェックの別	新規審査 自己チェック	型式番号	

項 目	チェック内容	結果	指摘事項等
○申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次によつて いるか。 1. 型式認定申請書 2. 取得済みの認定証書の写(認定試験一部省略の場合に添付) 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書 5. 外形図(取付部品表も含む。) 6. 回路構成図 7. 構造図(縦、横断面図) 8. 銘板図 9. 認定品の取扱い範囲に関する図書 10. 工場案内図 11. 書類審査チェックシート 12. 自主耐熱試験成績書(認定試験一部省略の場合は不要)		
1. 型式認定申請書	(1) 申請者の記載事項に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・区分)に誤りはないか。		
	(3) 「添付図書類」の欄の記載事項に誤りはないか。		
	(4) 供試品(耐熱試験を行う盤)については、外形図、回路構成図、構造図の部分に“(供試品)”と追記してあるか。		
	(5) その他、記載事項に誤りはないか。		
2. 取得済みの認定証書の写	認定証書の写は、認定試験一部省略に相当する内容のものか。また、有効期限に問題はないか。		
3. 誓約書	誓約書の記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理に関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 連絡担当者が記載されているか。(部署、TEL、FAX明記)		
	(4) 品質管理組織図に各部門の体制図が記載されているか。		
	(5) 品質管理組織図にクレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(6) (一社)日本配電制御システム工業会が行う“JSIA 優良工場”又は品質マネジメントシステム規格 JIS Q 9001 (ISO 9001) の認証を得ている申請者は、その旨「品質管理組織図」の欄の右隅に記載されているか。【立入調査時一部省略条件】		

項 目	チェック内容	結果	指摘事項等
4. 品質管理 に関する説明書	(7) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 交流電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V, 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上 オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 DC500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ ケ. 温度計、湿度計		
	(8) 次の関係規格基準類が整備されているか。 ア. 耐熱形配電盤等型式認定の手引 イ. 消防関係法令集 ウ. 建築基準法関係法令集 エ. 電気設備の技術基準 オ. 内線規程 カ. J I S及びJ E M等における関係規格 キ. 社内設計基準 ク. 社内検査基準		
	(9) その他、記載事項に誤りはないか。		
5. 外形図 (図面全般)	(1) 製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付の記載がされているか。 (最低、製図者又は設計者及び検図者又は承認者が必要)		
	(2) 供試品については、外形図、回路構成図、構造図の部分に“(供試品)”と記入してあるか。		
5.1 外形図	(1) 正面図、側面図、内部配置図が記載されているか。		
	(2) 専用形の場合、外形寸法は500W×700H×200Dであるか。 なお、上記以外の場合の各部の寸法は、供試品以上とする。		
	(3) 専用形の場合、各部の寸法は、次のようになっているか。 ア. 取付孔は4-φ14であるか。 イ. 取付孔の位置は400W×600Hであるか。 ウ. 電線引込み及び引出し寸法は、100mmであるか。 エ. 電線引込み口及び引出し口の電線貫通金物取付け位置は、背面より60mmであるか。		
	(4) 共用形の場合、実用に供する寸法であるか。 なお、防災回路部分の各部の寸法は、供試品以上とする。		
	(5) 共用形の場合、ドアは、防災電源回路用と一般回路用を別個のドアとし、防災回路部分の各々のドアは一方のドアに関わることなく開放できる構造であるか。		
	(6) 正面図、側面図、内部配置図の番号と取付部品表の部品名称の番号(No)は整合しているか。		
	(7) 耐火表示灯は、正面の見やすいところに取付けてあるか。		
	(8) 名称板は、正面の見易いところ(上部)に取付けてあるか。		
	(9) 銘板は、ドア裏面に取付けてあるか。		
	(10) その他、記載事項に誤りはないか。		

項 目	チェック内容	結果	指摘事項等
5.2 取付部品表	(1) ボックスの板厚の仕様は、1.6mm（以上）となっているか。		
	(2) 前面枠及びドアの板厚の仕様は、2.3mm（以上）となっているか。		
	(3) 耐火表示灯の仕様に誤りはないか。 [メーカー、形式、赤色、取付孔径] 取付孔径：φ15 以上		
	(4) 名称板の横寸法は、200mm（以上）であるか。		
	(5) 銘板の材質は、金属製で厚さ 0.8mm（以上）であるか。		
	(6) 扉用把手は金属製のものか。		
	(7) 絶縁電線（耐熱性電線）は、600V 二種ビニル絶縁電線又は認定品（JCT ｺﾝﾃｲ 又は JCM ｺﾝﾃｲ）であるか。		
	(8) 耐熱形配線用遮断器の仕様に誤りはないか。 [二種耐熱形認定品、メーカー、形式]		
	(9) 耐熱形ヒューズホルダの仕様に誤りはないか。 [二種耐熱形登録品、メーカー、形式]		
	(10) 表示灯用ヒューズの仕様に誤りはないか。 [メーカー、ガラス管ヒューズ、消弧剤入り]		
	(11) 耐熱形端子台の仕様に誤りはないか。 [二種耐熱形登録品、メーカー、形式]		
	(12) 用途名称板(カードホルダ)の仕様に誤りはないか。 [難燃性又は金属製]		
	(13) 図面ホルダは、金属製又は金属枠と難燃性の透明板（厚さ 1.0mm 以下のもの）を使用しているか。		
	(14) 電圧計、電流計の仕様に誤りはないか。 <input checked="" type="checkbox"/> [メーカー、形式、階級] 階級は：2.5 級以上		
	(15) 耐熱形変流器の仕様に誤りはないか。 <input checked="" type="checkbox"/> [二種耐熱形登録品、メーカー、形式、階級] 階級：2.5 級以上		
	(16) その他、記載事項に誤りはないか。		
6. 回路構成図	(1) 図記号等に誤りはないか。（JIS C 0617 に準拠しているか。）		
	(2) 電線の種類、サイズ（mm ² ）に誤りはないか。		
	(3) 耐熱形端子台は電線サイズに合ったものか。		
	(4) 表示灯用回路は、動力回路のみとし、耐熱形配線用遮断器の 2 次側に接続しているか。（申請図書の場合のみ）		
	(5) 表示灯用ヒューズに至る電線は、HIV 電線又は認定品を使用しているか。なお、ヒューズの 2 次側より表示灯に至る電線は I V 1.25mm ² でもよい。		
	(6) 表示灯用回路には、両極に 1A～3A の消弧剤入りヒューズを設けているか。		
	(7) 電圧計用回路は、耐熱形配線用遮断器の 1 次側に接続しているか。 <input checked="" type="checkbox"/>		
	(8) 電圧計用ヒューズに至る電線は、HIV 電線又は認定品を使用しているか。なお、ヒューズの 2 次側より電圧計に至る電線は I V 2mm ² でもよい。 <input checked="" type="checkbox"/>		
	(9) 電圧計回路には、両極に 1A～3A の消弧剤入りヒューズを設けているか。 <input checked="" type="checkbox"/>		
	(10) 電流計には C T が併用され、電流計までの配線がなされているか。なお、電線は I V 2mm ² でもよい。 <input checked="" type="checkbox"/>		
	(11) その他、記載事項に誤りはないか。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項等
7. 構造図 (縦・横断面図)	(1) 主要構造、部品、材料が記載されているか。		
	(2) 寸法は手引の記入例に示す箇所にはすべて表示されているか。		
	(3) 寸法等の記載方法に誤りはないか。 例 2.3mm ⇒ t2.3、 4-14φ取付穴 ⇒ 4-φ14取付孔		
	(4) キャビネットは1.6mm(以上)の鋼板である旨の指示があるか。		
	(5) ドア開閉部の隙間は、その空間の1箇所が3.5mm(以内)となっているか。		
	(6) 共用形の横断面図には一般回路部分も記載されているか。		
	(7) 電線管又は金属製可とう電線管を容易に接続できるか。		
	(8) 耐熱形端子台への接続スペースは適切か。		
	(9) 表示灯のレンズは前面板より突出しているか。		
	(10) 計器は配線の接続スペースが取れる位置にあるか。配		
	(11) その他、記載事項に誤りはないか。		
8. 銘板図	(1) 銘板の材質は、金属製で厚さ0.8mm(以上)あるか。		5.2 取付部品表に記載でも可
	(2) 銘板は、「耐熱形配電盤等認定基準」6. 銘板の表示を満足しているか。		
	(3) その他、記載事項に誤りはないか。		
9. 認定品の 取扱い範囲 に関する図書	(1) 認定品の導電部の接続方法に問題はないか。 ア. 導体の接続方法 イ. 導体支持物の種類(材質) ウ. 電圧計及び表示灯へのコネクタ配線について		
	(2) 保護板の材料に問題はないか。		
	(3) ドア部の各種の構造に問題はないか。(供試品と同等以上か。)		
	(4) 屋外用の構造に問題はないか。 屋根部の構造は、キャビネットを変更しないで取付ける構造とする。(屋根部取付けのためのねじ孔加工は可)		
	(5) その他、記載事項に誤りはないか。		
10. 工場案内図	最寄りの駅から、工場までの道程がわかる解るような案内図であるか。		
11. 書類審査 チェックシート	確認者のサイン及び日付の記載があるか。		
12. 自主 耐熱試験成績表 (供試品のみ)	(1) 耐熱温度曲線図(チャート図)が添付されているか。 その耐熱試験温度曲線は規定通りか。		
	(2) 耐熱温度曲線図から、断熱ボックス内部温度(指定測定点)は30分後、105度以内となっているか。		
	(3) 耐熱試験(前、後)の写真が添付されているか。 その写真から問題はないか。		
13. その他			

注記1 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしの場合は—印を記入する。

注記2 配は、配電盤のみに適用。

注記3 供試品とは、認定取得のために耐熱試験を行った盤をいう。

注記4 認定試験一部省略とは、「認定規約細則」6.認定試験の一部省略に該当する盤をいう。

書類審査(更新用)チェックシート (二種耐熱形配電盤等)

年 月 日
確認者 印

申請者名		受付番号	
型式区分	(種別) 二種耐熱形	(区分)	
チェックの別	更新審査 自己チェック	型式番号	

項目	チェック内容	結果	指摘事項等
○申請図書	(1) 申請書及び図書類はA4綴じか。(用紙の最大はA3サイズ)		
	(2) 申請書及び図書類に遺漏はないか。綴じ込み順序は次によっているか。 1. 型式認定更新申請書 2. 取得済みの認定証書の写 3. 誓約書 4. 品質管理に関する説明書 5. 外形図(取付部品表も含む。) 6. 回路構成図 7. 構造図(縦、横断面図) 8. 銘板図 9. 認定品の取扱い範囲に関する図書 10. 工場案内図 11. 書類審査チェックシート		
1. 型式認定 更新申請書	(1) 申請者の記載事項に誤りはないか。		
	(2) 型式区分(種別・区分)に誤りはないか。		
	(3) 「添付図書類」の欄の記載事項に誤りはないか。		
	(4) 供試品(耐熱試験を行った盤)については、外形図、回路構成図、構造図の部分に“(供試品)”追記してあるか。		
	(5) その他、記載事項に誤りはないか。		
2. 取得済みの 認定証書の写	認定証書の写しと申請書の記載事項の型式区分、型式番号、有効期限は整合しているか。		
3. 誓約書	誓約書の記載内容に誤りはないか。		
4. 品質管理 に関する説明書	(1) 品質管理責任者は管理職(部長職以上)であるか。		
	(2) 品質管理担当責任者は管理職(課長職以上)であるか。		
	(3) 連絡担当者が記載されているか。(部署、TEL、FAX明記)		
	(4) 品質管理組織図に各部門の体制図が記載されているか。		
	(5) 品質管理組織図にクレーム対策についての対処が記載されているか。		
	(6) (一社)日本配電制御システム工業会が行う“JSIA 優良工場”又は品質マネジメントシステム規格 JIS Q 9001 (ISO 9001) の認証を得ている申請者は、その旨「品質管理組織図」の欄の右隅に記載されているか。【立入調査時一部省略条件】		

項 目	チェック内容	結果	指摘事項等
4. 品質管理 に関する説明書	(7) 次の試験装置を所有しているか。 ア. 交流電圧調整器 100V 5A以上 イ. 電流調整器 400A、CT400/5A ウ. 交流電圧計 150/300V, 0.5級以上 エ. 交流電流計 5A 0.5級以上 オ. 耐電圧試験装置 AC2000V以上、0.5kVA以上 カ. 絶縁抵抗計 DC500V キ. 検電器 2000V用以上 ク. テスタ ケ. 温度計、湿度計		
	(8) 次の関係規格基準類が整備されているか。 ア. 耐熱形配電盤等型式認定の手引 イ. 消防関係法令集 ウ. 建築基準法関係法令集 エ. 電気設備の技術基準 オ. 内線規程 カ. JIS及びJEM等における関係規格 キ. 社内設計基準 ク. 社内検査基準		
	(9) その他、記載事項に誤りはないか。		
5. 外形図 (図面全般)	(1) 製図者、設計者、検図者、承認者の印及び日付の記載がされているか。 (最低、製図者又は設計者及び検図者又は承認者が必要)		
	(2) 図面には、最新版の「認定の手引」に適合しているか確認した日付と確認者名があるか。 なお、確認日は提出日の3か月前までのものとする。		新たに図面を作成した場合は不要
	(2) 供試品については、外形図、回路構成図、構造図の部分に“(供試品)”と記入してあるか。		
5.1 外形図	(1) 正面図、側面図、内部配置図が記載されているか。		
	(2) 専用形の場合、外形寸法は500W×700H×200Dであるか。 なお、上記以外の場合の各部の寸法は、供試品以上とする。		
	(3) 専用形の場合、各部の寸法は、次のようになっているか。 ア. 取付孔は4-φ14であるか。 イ. 取付孔の位置は400W×600Hであるか。 ウ. 電線引込み及び引出し寸法は、100mmであるか。 エ. 電線引込み口及び引出し口の電線貫通金物取付け位置は、背面より60mmであるか。		
	(4) 共用形の場合、実用に供する寸法であるか。 なお、防災回路部分の各部の寸法は、供試品以上とする。		
	(5) 共用形の場合、ドアは、防災電源回路用と一般回路用を別個のドアとし、防災回路部分の各々のドアは一方のドアに関わることなく開放できる構造であるか。		
	(6) 正面図、側面図、内部配置図の番号と取付部品表の部品名称の番号(No)は整合しているか。		
	(7) 耐火表示灯は、正面の見やすいところに取付けてあるか。		
	(8) 名称板は、正面の見易いところ(上部)に取付けてあるか。		
	(9) 銘板は、ドア裏面に取付けてあるか。		
	(10) その他、記載事項に誤りはないか。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項等
5.2 取付部品表	(1) ボックスの板厚の仕様は、1.6mm（以上）となっているか。		
	(2) 前面枠及びドアの板厚の仕様は、2.3mm（以上）となっているか。		
	(3) 耐火表示灯の仕様に誤りはないか。 [メーカー、形式、赤色、取付孔径] 取付孔径：φ15以上		
	(4) 名称板の横寸法は、200mm（以上）であるか。		
	(5) 銘板の材質は、金属製で厚さ0.8mm（以上）であるか。		
	(6) 扉用把手は金属製のものか。		
	(7) 絶縁電線（耐熱性電線）は、600V二種ビニル絶縁電線又は認定品（ニテイ <input type="checkbox"/> JCT またはニテイ <input type="checkbox"/> JCMA）であるか。		
	(8) 耐熱形配線用遮断器の仕様に誤りはないか。 [二種耐熱形認定品、メーカー、形式]		
	(9) 耐熱形ヒューズホルダの仕様に誤りはないか。 [二種耐熱形登録品、メーカー、形式]		
	(10) 表示灯用ヒューズの仕様に誤りはないか。 [メーカー、ガラス管ヒューズ、消弧剤入り]		
	(11) 耐熱形端子台の仕様に誤りはないか。 [二種耐熱形登録品、メーカー、形式]		
	(12) 用途名称板(カードホルダ)の仕様に誤りはないか。 [難燃性又は金属製]		
	(13) 図面ホルダは、金属製又は金属枠と難燃性の透明板（厚さ1.0mm以下のもの）を使用しているか。		
	(14) 電圧計、電流計の仕様に誤りはないか。 <input type="checkbox"/> 配 [メーカー、形式、階級] 階級は：2.5級以上		
	(15) 耐熱形変流器の仕様に誤りはないか。 <input type="checkbox"/> 配 [二種耐熱形登録品、メーカー、形式、階級] 階級：2.5級以上		
	(16) その他、記載事項に誤りはないか。		
6. 回路構成図	(1) 図記号等に誤りはないか。（JIS C 0617 に準拠しているか。）		
	(2) 電線の種類、サイズ（mm ² ）に誤りはないか。		
	(3) 耐熱形端子台は電線サイズに合ったものか。		
	(4) 表示灯用回路は、動力回路のみとし、耐熱形配線用遮断器の2次側に接続しているか。（申請図書の場合のみ）		
	(5) 表示灯用ヒューズに至る電線は、HIV電線又は認定品を使用しているか。なお、ヒューズの2次側より表示灯に至る電線は I V 1.25mm ² でもよい。		
	(6) 表示灯用回路には、両極に1A～3Aの消弧剤入りヒューズを設けているか。		
	(7) 電圧計用回路は、耐熱形配線用遮断器の1次側に接続しているか。 <input type="checkbox"/> 配		
	(8) 電圧計用ヒューズに至る電線は、HIV電線又は認定品を使用しているか。なお、ヒューズの2次側より電圧計に至る電線は I V 2mm ² でもよい。 <input type="checkbox"/> 配		
	(9) 電圧計回路には、両極に1A～3Aの消弧剤入りヒューズを設けているか。 <input type="checkbox"/> 配		
	(10) 電流計にはCTが併用され、電流計までの配線がなされているか。なお、電線は I V 2mm ² でもよい。 <input type="checkbox"/> 配		
	(11) その他、記載事項に誤りはないか。		

項目	チェック内容	結果	指摘事項等
7. 構造図 (縦・横断面図)	(1) 主要構造、部品、材料が記載されているか。		
	(2) 寸法は手引の記入例に示す箇所にはすべて表示されているか。		
	(3) 寸法等の記載方法に誤りはないか。 例 2.3mm ⇒ t2.3、 4-14φ取付穴 ⇒ 4-φ14取付孔		
	(4) キャビネットは1.6mm(以上)の鋼板である旨の指示があるか。		
	(5) ドア開閉部の隙間は、その空間の1箇所が3.5mm(以内)となっているか。		
	(6) 共用形の横断面図には一般回路部分も記載されているか。		
	(7) 電線管又は金属製可とう電線管を容易に接続できるか。		
	(8) 耐熱形端子台への接続スペースは適切か。		
	(9) 表示灯のレンズは前面板より突出しているか。		
	(10) 計器は配線の接続スペースが取れる位置にあるか。 配		
	(11) その他、記載事項に誤りはないか。		
8. 銘板図	(1) 銘板の材質は、金属製で厚さ0.8mm(以上)あるか。		5.2 取付部品表に記載でも可
	(2) 銘板は、「耐熱形配電盤等認定基準」6. 銘板の表示を満足しているか。		
	(3) その他、記載事項に誤りはないか。		
9. 認定品の 取扱い範囲 に関する図書	(1) 認定品の導電部の接続方法に問題はないか。 ア. 導体の接続方法 イ. 導体支持物の種類(材質) ウ. 電圧計及び表示灯へのコネクタ配線について		
	(2) 保護板の材料に問題はないか。		
	(3) ドア部の各種の構造に問題はないか。(供試品と同等以上か。)		
	(4) 屋外用の構造に問題はないか。 屋根部の構造は、キャビネットを変更しないで取付ける構造とする。(屋根部取付けのためのねじ孔加工は可)		
	(6) その他、記載事項に誤りはないか。		
	10. 工場案内図	最寄りの駅から、工場までの道程がわかる解るような案内図であるか。	
11. 書類審査 チェックシート	確認者のサイン及び日付の記載があるか。		
12. その他			

注記1 結果欄には、適正は○印、不適正は×印、該当なしの場合は— 印を記入する。

注記2 配 は、配電盤のみに適用。

注記3 供試品とは、認定取得のために耐熱試験を行った盤をいう。

注記4 認定試験一部省略とは、「認定規約細則」6.認定試験の一部省略に該当する盤をいう。